

令和7年度 事務事業評価シート（1）

〔令和6年度事務事業〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小中一貫教育充実事業			事業番号	038-131
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成				
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			目標値	—
		寄与するKPI	無	現状値	—			目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1		
		寄与するKPI	有	取組	総合的な学力の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		寄与するKPI	無	現状値	—			目標値	—
2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン							
3	事業開始年度	平成 20 年度			点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠	教育基本法、学校教育法、学習指導要領							

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁							
6	事業の対象	市立小・中学校の全児童生徒	対象数	58,995	単位	人			
7	事業の目的	すべての中学校区で共通した教育目標を設定し、静謐な教育環境の実現と、総合的な学力の向上に向け義務教育9年間の一貫したカリキュラムや指導体制に基づく教育活動を実施し、学習指導要領で示された3つの資質・能力を関連付けながら、子ども一人ひとりの総合的な学力の向上を図る。							
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育全体協議会等の開催 ・小中合同研修、夏季研修等における指導助言 ・施設一体型小中一貫校による取組の発信、他市町村からの視察受入れ ・小中一貫教育の取組を推進している中学校区の取組の発信 							
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—							
9	主な支出先	物品等販売業者							
10	公民連携・協働事業	—							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	点検対象年度 令和7年度
11	近隣等の小学校と、教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った中学校数	校	目標値	—	32	34	34
			実績値	27	32		
			達成率	—	100%		
	当該指標を選定した理由	教育課程に関する共通の取組を計画・実施している学校数を把握することで、客観的に小中一貫教育の達成状況を把握することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		全国学力・学習状況調査（肯定回答した学校数）					
12	中学校区で小中一貫ランドデザイン（めざす子ども像・発達段階に応じた目標・重点となる活動）を共有している中学校数	校	目標値	—	40	41	
			実績値	39	40		
			達成率	—	100%		
	当該指標を選定した理由	中学校区で効果的に合同授業研究や研修を実施するためには、中学校区での小中一貫ランドデザインを共有することが必要となるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市児童生徒学習・生活状況調査（肯定回答をした学校数）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	小中一貫教育充実事業	事業番号	038-131
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)
項 目	事業費 (a)	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
		2,369	1,884	3,062	2,111	3,062
13 財源内訳	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他 ()	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	2,369	1,884	3,062	2,111	3,062
14	人件費 (b)	2,460	3,240	3,240	3,240	3,360
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	4,829	5,124	6,302	5,351	6,422

事業費の内訳		(単位：千円)							
項 目	年度	事業費	うち一般財源	項 目	年度	事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	研修等講師謝礼金	R6 決算	238	238				R6	決算
		R7 予算	1,081	1,081				R7	予算
	小中一貫教育旅費	R6 決算	260	260				R6	決算
		R7 予算	231	231				R7	予算
	小中一貫教育消耗品費	R6 決算	1,583	1,583				R6	決算
		R7 予算	1,720	1,720				R7	予算
	小中一貫教育全国連絡協議会正会員会費	R6 決算	30	30				R6	決算
		R7 予算	30	30				R7	予算
		R6 決算						R6	決算
		R7 予算						R7	予算

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	小中一貫ランドデザイン（めざす子ども像・発達段階に応じた目標・重点となる活動）を共有し、取組を進めている中学校区数	校	43	43
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,124	5,351
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	119,163	124,442
		算出についての説明等	学校から提出される実施計画書		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>全ての中学校区で「小中一貫ランドデザイン」もしくは「学校群ランドデザイン」が作成されているが、評価・改善のサイクルがうまく機能していないことが課題となっている。そこで中学校区で毎年子どもの現状や取組を評価し、ランドデザインを改善することで、「めざす子ども像」の実現に向けた取組を推進していく必要がある。また、ランドデザインの評価、改善を機能させるためのランドデザインそのものの見直しや「小中一貫ランドデザイン」と「学校群ランドデザイン」の一本化、効果的な活用方法について研修等で周知していく必要がある。</p>
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>各中学校区で取組を推進した結果、学力の向上、児童生徒の規範意識、自尊感情の向上等につながり、SDGs ターゲット4-1の「総合的な学力の育成」に寄与した。</p>